

## 平成27年度第2回 明石市総合教育会議（議事要旨）

日 時	平成27年（2015年）10月9日（金）15:30～16:25
場 所	明石市役所議会棟 第3委員会室
出席者	泉房穂市長、田中陽三教育委員長、日下孝明教育委員、井筒典久教育委員、川本まり子教育委員、公家裕教育長
協議・調整事項	(1) 教育大綱について
配付資料	・ 次第 ・ 出席者名簿 ・ <u>資料</u> （仮称）明石市教育大綱（素案） ・ <u>参考</u> 教育施策の取組状況について
事務局	明石市政策部政策室

### 1 開 会

（市長あいさつ）

- ・教育委員会として熱心に活動いただき、市民からも評価いただいていることに厚くお礼申し上げる。教育委員会制度の変更に伴い、新体制となり、更に頑張っていただくことを期待している。
- ・広報あかし10月15日号で、教育委員会の取組を広く紹介したい。市民と一緒に頑張って、明石の教育を前に進めていきたいと考えている。
- ・市長部局としては、教育現場を尊重し、予算措置等によって応援することが務めだと考えている。

### 2 議 事

#### (1) 教育大綱について

- ・事務局から、資料に基づき、明石市教育大綱（素案）について説明
- ・教育長から、参考資料に基づき、教育施策の取組状況や課題について説明

（市長）

- ・まず、大綱について市長としての考え方をお示ししたい。
- ・教育は、行政や保護者のためではなく、子どもたち一人ひとりのためにあると考えている。基本方針にもその思いを反映させており、ポイントは4点ある。
- ・1点目は、子どもが主人公であるということ。
- ・2点目は、行政は一人ひとりに寄り添う教育を応援するため、その環境を整備する責務を負っているということ。

- ・3点目は、教育は行政や学校だけでできるわけではなく、地域との連携をしっかりと考えなければならないということ。
- ・最後に、生涯学習を含め、教育に力を入れることがまちの発展やブランドイメージの向上に大きく影響するということ。
- ・教育は今後のまちづくりの本丸であり、2期目の所信表明の中でも、教育を最重点分野に挙げており、しっかりと応援していきたい。
- ・大綱では大きな方向性のみを示し、具体的な取組内容は教育委員会や教育現場にお任せしたい。

## ○位置付け・期間について

※特に意見なし。

## ○基本目標について

### 「「ふるさと明石」に愛着と誇りを持ち、未来を担う人づくり」

(教育委員会)

- ・目標には、ある程度結果が必要であり、愛着や誇りなどについてその結果をどのように落とし込むのか難しい面があると感じた。また、子どもの感じ方は自由であるべきである。
- ・標語としては良いフレーズであるが、具体的な取組との関連がはっきりしない。
- ・基本方針内に、基本目標の反映が薄いという印象がある。
- ・これまでの教育の中で、愛着や誇りといった意識が薄かったという思いがあるため、これらを打ち出すことは良いと思う。地域の特色や文化財等を意識しながら教育できると、子どもの芯の部分に影響するのではないかと考える。
- ・未来という部分が教育の方向性を示している。グローバル化していく中で、回帰すべき原点としてふるさとを意識してほしい。
- ・誇りは別として、愛着を持って明石に住んでいただくことは良いと思う。

(事務局)

- ・「ふるさと明石」と「未来を担う人づくり」を一つのフレーズで表現することで、市民にも理解していただきやすいのではないかと考えた。
- ・ふるさと明石への愛着や誇りを、基本方針にいかに関係させるかについては、これから検討したい。

(市長)

- ・社会のために教育があるわけではないので、この言葉を市民がどのように受け止めるかという問題もある。まちのために尽くさなければならないわけではなく、愛着や誇りを持つことを強制したくない。
- ・様々な意見が出たので、基本目標を置くかどうかを含め、事務局で整理して案を作成し

てほしい。教育委員会には、持ち回りによる方法を含め、修正案を確認いただく。

## ○基本方針について

### **方針1** 一人ひとりに応じたきめ細やかな教育の充実

(市長)

- ・少人数教育について、様々な意見があると思うが、少なくとも小学校1年生で30人学級を導入し、きめ細かく一人ひとりに寄り添う教育を行いたいと考えている。教育現場の声を聞きながら、予算面で議会の協力を得ながら、進めていきたい。また、人数だけではなく、教師の力など総合的に考えていくべき問題である。
- ・発達障害など障害のある子どもたちへの個別対応や、エレベーター、スロープの整備など財源が必要な面もある。

(教育委員会)

- ・少人数教育について、小学1年生でのつまずきが、その後に大きく影響するため、この方向性で良いと考えている。遊びから学びへと、教科毎・時間毎の勉強へと変わるため、子どもの思いなどを聞きながら、上手く繋いでいくべきだと考える。
- ・エレベーターやスロープなどの施設面の整備については、ニーズを踏まえて順次進めている。
- ・学校での障害者支援はかなり取り組んでいると考えているが、その後の支援が難しいと感じている。市長部局と共に課題に取り組んでいきたい。
- ・通常は「一人一人」と書くが、素案では「一人ひとり」と表している。どのような意図があるのか。

(事務局)

- ・「一人ひとり」としたほうが、個性の違いを表現できるのではないかと考えた。

### **方針2** 子どもが安心して学べる質の高い教育環境の実現

(教育委員会)

- ・教育の質を高めるためには、教員の指導力向上を考えなければならない。講師が増えている今、将来を担う教員をどのように育てるかという視点も大切ではないか。
- ・小中一貫教育については、検討委員会を設置している。不登校の子どもが多いことから、学校間の繋がりが今後更に重要となる。小学校入学時、小学校と中学校、中学校と高校といった繋がりを大切にしなければ、今の教員の頑張りだけで不登校を減らすことはできないと考える。
- ・発達段階の先にある学校は、それまでの学びの状況をあまり見ていない。つまずきやすい中学校1年生では小学校でどのように学んでいたかということを見る必要がある。
- ・不登校対策や問題行動対策として、図書館など、子どもの居場所を作るという観点が必要である。

- ・エアコンの設置は保護者の観点からも順次設置をお願いしたい。
- ・タブレット端末については、教育研究所を通じて教員にしっかりと研修を行い活用していきたい。将来的には1人1台導入することが望ましい。
- ・パソコンは、教育にはあまり適さず、学力向上に繋がらないというデータもある。
- ・想像力を発展させるという意味では、パソコンに頼りすぎると、行間を読む力、論理性など人間の機能が退化してしまうという面がある。その対極として、本を読むことが非常に効果的ではないかと考える。
- ・学校に多くの人がいるにも関わらず、スマートフォンで遊んでいるという事態にならないようにしてほしい。直接体験を大切にしてほしい。
- ・幼い時からグローバル教育を大切にしてほしい。異文化交流、コミュニケーション能力が先にあって語学教育があると考えため、この3つをバランスよく教育に取り入れてほしい。
- ・少子高齢化時代に際して、明石の人口を増加させる目標を立てていることは良いことだと思う。その観点からも教育にかかる予算を今後も削減してほしくない。

(市長)

- ・子どもの居場所づくりについては、国もフリースクールなど案を示している。現状では保健室などが考えられるが、保健室にも行きにくい場合もある。国の情報を注視しながら、明石市としてできることを考えていきたい。
- ・タブレット端末などについては、便利さとリスクの両方を考える必要がある。また、本に親しむことと、新しい情報機器に触れることが両立できるように応援していきたい。
- ・教育には相当お金がかかるが、当然そういうものだとして認識しており、個人的な思いとしては、しっかりと財源面で応援していきたいと考えている。しかし、現実的には財政的な制約もあり、様々なテーマがある中で、教育現場の声を踏まえながら、メリハリを付けて取り組んでいきたい。

### **方針3** 地域ぐるみで子どもの健やかな育ちを支える活動の推進

(教育委員会)

- ・地域に開かれるだけでなく、クラスも開かれるべきである。中堅の教員が減ってきているが、クラス内だけで問題を解決してしまわず、学校全体で問題を共有できる雰囲気づくりが必要である。

### **方針4** 生涯を通じて学び、その成果を生かすことができる環境の充実

(市長)

- ・明石駅前南地区再開発事業を契機として、市民図書館の整備や民間書店の出店など明石駅前を中心に、本のまちとして施策展開していきたい。市民図書館については、現在の図書館と比較して、面積が3倍、蔵書数が2倍となり、まち全体の教育や文化を向上する拠点と捉えている。子どもたちに対しても、読書週間を設けるなど様々な取組を行う

ことで、想像力を育み、引いてははじめ問題の解決や平和意識の醸成にも繋がると考えている。

(教育委員会)

- ・教育の対象は0歳から高齢者まで幅広く考えてほしい。

(事務局)

- ・本日の協議結果を踏まえて、素案の内容を修正し、大綱案についてパブリック・コメントを行っていききたい。

## (2) その他

(教育委員会)

- ・明石駅前について、タクシーの駐車スペースは広いが、子どもを送り迎えする車の駐車スペースがないという印象を受ける。

(事務局)

- ・基本的には駐車スペースは確保している。しかし、マナー違反で駐車する人がいたりして、駐車スペースを使えないという状況もある。工夫は必要だが、駐車スペースを広げることは現実的には難しい。

(市長)

- ・明石駅前南地区再開発事業でも、駅に近い場所は、公共交通機関を利用しやすいようにして、自家用車など私的なものは少し離れた場所を利用してもらおうという棲み分けをしている。価値判断が分かれる問題だが、現状では対応が難しくご意見として伺う。

## 3 閉 会

(市長)

- ・教育は非常に大切であり、子どもが主人公である。
- ・教育委員会の取組を尊重し、市長部局としてしっかりと応援していきたい。

以上